

子供たちの成長や笑顔が私たちの“やりがい”です！

教頭 横堀 壮昭

全国的に教員不足が深刻化しています。皆様もこの件に関する報道を耳にすることが多くなっているのではないのでしょうか。そして「業務内容が多岐にわたっている」「勤務時間が長い」等、教員のネガティブなイメージに関する報道が多くなっています。改善のために課題を明らかにすることはとても大切なことですが、ポジティブな部分にこそ注目したいと思い、昨年度、県内の知的障害教育特別支援学校の教職員を対象とした調査を行いました。その結果の一部について、紹介したいと思います。

調査は、ジブラルタ生命保険株式会社（2022）「教員の意識に関する調査」質問項目「教員としてやりがいを感じる時」の回答上位 10 項目の内容を選択肢として、「現在の仕事のどこにやりがいを感じるか」に対し、複数選択方式で回答してもらいました。調査対象は新潟県内の知的障害特別支援学校 31 校（分校も 1 校と数える）、教職員 1376 名とし、741 名（約 54%）から回答していただきました。結果は図のとおりです。

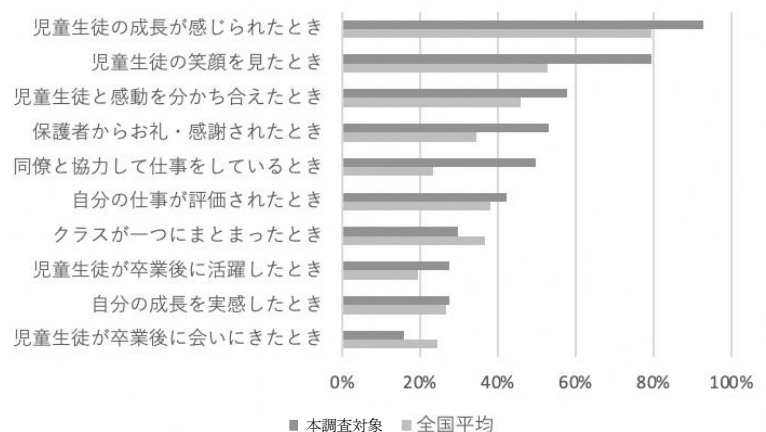


図 現在の仕事のどこにやりがいを感じるか

「児童生徒の成長が感じられたとき」「児童生徒の笑顔を見たとき」が突出して高くなりました。多くの教職員がこの部分に魅力を感じていると言えます。また、全国平均と比較して高くなっています。知的障害特別支援学校では、教職員と児童生徒一人一人との距離が近く、児童生徒の成長や笑顔に接する機会が多くあることがこの数値の高さにつながっていると考えられます。「保護者からお礼・感謝されたとき」「同僚と協力して仕事をしているとき」も全国平均と比較して高くなっています。保護者と直接やり取りする機会が多いため直接お礼や感謝を伝えていただける機会が多いことと、チームティーチングの形式をとっているため同僚と協力して指導支援にあたる機会が多いことがこの数値の高さにつながっていると考えられます。

長い夏休みが終わり、2学期が始まりました。教員のやりがいを再確認し、子供たちの成長の姿や笑顔がたくさん見られるように、保護者の皆様と協働して教育活動に取り組んでまいります。2学期もよろしくお祈りします。

発達障害通級指導教室の紹介

当校の発達障害通級指導教室について

当校の通級指導教室は、新潟市内小中学校の通常の学級に在籍する児童生徒を対象にしています。

「読む」「書く」「話す」「聞く」「計算する」「推論する」などの学習における困難さや、他者とのかかわりの困難さについての、改善・克服を目指す教室です。

毎年当校で開催される『特別支援教育研究会』において、全国に授業を公開しています。

新潟大学の附属校として、教育の理論の研究、大学生・大学院生等への講義等も行っています。

当教室について

● 自分に合った学び方 ●

様々な学び方の中から、自分に合った学び方を見付け、**在籍校の中で自信をもって、意欲的に学び続けることができるように**、子どもと対話し、学び方を探りながら取り組みます。指導は、基本的



に個別指導で行います。

Bear Room

● 実際的なかかわり ●

集団の中でのかかわりや、行動の仕方について学び、**人とかかわることへの自信や意欲が高まるように**、実際的なかかわりを引き出す活動に取り組みます。指導は、グループ指導と個別指導を組み合わせで行います。



Together Room

教室の経営方針について

前向きな「思い」の育成

- ☞ 自己肯定感を高め、自ら進んで取り組む意欲や態度を育てながら指導や支援を行います。



在籍校・家庭との連携

*年2回程度、支援会議を開催します。

- ☞ 本人の思いや、在籍校や家庭における教育的なニーズを受け止め、保護者や在籍校担任や特別支援教育コーディネーターと連携して、共通理解のもと指導を行います。

📖 昨年度の通級の実践

計画的な指導の実施

- ☞ 保護者・在籍校・通級担当者間で個別の指導計画を作成し、計画的に目標や支援を見直して改善を図りながら指導に当たります。

当教室の募集について

当教室の募集は、年1回、12月～1月に行います。

募集要項については、当校のホームページよりご覧いただけます。

市内の小中学校には、募集にかかわる案内文書を送付いたします。

※応募の前に、教育相談を受けていただく必要があります。詳しくは、募集要項をご確認ください。



📖 当校ホームページ